

ふちゅう歴史散歩 Vol.63

国府への道と山陽道の分岐点を発見 備後国府跡・鳥居地区



鳥居地区推定模式図



国府への道（進入路）と山陽道との分岐点

ふちゅう歴史フォーラムで、発掘調査の報告を行ないます
 とき 7月2日(土) 14時～
 ところ 広谷公民館
 ※備後国府跡の指定については、8ページをご覧ください。

府川町の鳥居地区は、南側を奈良時代・平安時代の古代山陽道が通っていたと推定され、木製まじない道具の「人形」や国司の役職名「権介」を書いた墨書土器などの遺物も出土している重要な場所です。

1月から発掘調査を行ない、備後国府への分岐点と考えられるL字に屈曲する溝が発見されました。この部分が古代山陽道から約600m北にある国府中心部へ進むための分岐点にあたります。これまでの研究では国府の南側を古代山陽道が通っていたことは推定されていましたが、古代の主要幹線道路である山陽道から国府中心部への分岐点を確認できたのは、全国初の調査事例になります。

古代山陽道は、備後国内を東西に横断していました。都と九州・大宰府を結び、都と各地を行き来する人だけではなく、外国使節が通ることもありました。

古代だけでなく中世になっても、鳥居地区では、日吉神社(本山町)の石鳥居が建立されるなど、とても重要な歴史的意味や価値を持っている場所です。

—市民レポーターが府中の魅力を投稿します—

ふちゅう Sai 発見!

高校生編 その25



投稿者 (文と写真)

上下高校3年生
 池田 達哉くん



Shuさん

田舎を誇ろう! ~Shuさんから学ぶ~

今年、上下高校の3年生は「きずな創生学Ⅲ (総合的な学習の時間)」で、府中市をアピールするための動画を制作しています。その講師として私たちに映像づくりの基本を教えてください、ナイキのCMを制作されるなど、クリエイティブディレクターとしてニューヨークでファッション業界の最先端で活躍されていたShuさんです。

Shuさんは、昨年の12月に縁もゆかりもない上下町へ、たまたま気に入った物件があったということで移住されてきました。Shuさん

は仕事に対して、一生かけてやる意味があるかないかという姿勢を貫く中、作品へのテーマも、「命あるもの」「消えゆく文化」という

「消えゆく文化」という使命感を持って取り組んでおられます。

この1年間、Shuさんからさまざまなことを学びながら、府中市にしかないものを見つけ、映像制作に取り組んでいきたいと考えています。

平成28年7月1日(1214)号

広報ふちゅう

(毎月1・15日発行)



ご意見、ご感想をお寄せください。

編集発行：府中市人事秘書課

〒726-8601 広島県府中市府川町315

☎0847-43-7111 (代表)

☎0847-43-7194 (広報担当)

HP <http://www.city.fuchu.hiroshima.jp/>

HP 《携帯版》 <http://city-fuchu-m.plimo.jp/>

※右のQRコードからアドレスを読み取ることができます。

